
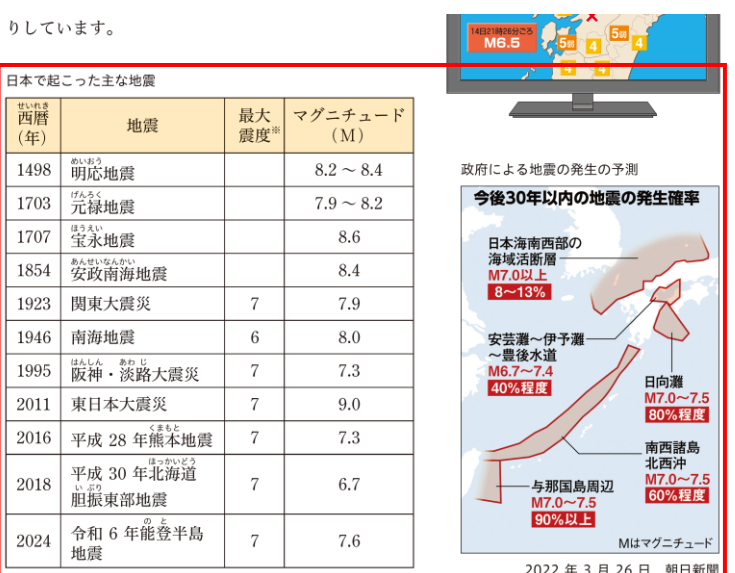
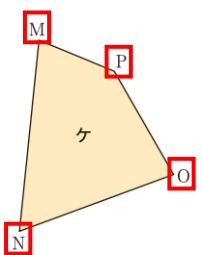
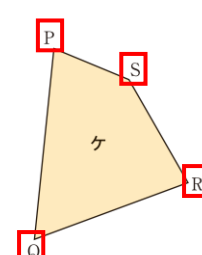


中学校数学教科書「数学の世界3」訂正表

修正箇所	原文	修正文	理由																																																																																								
<p>p.74 中</p>	<p>りしています。</p>  <p>日本で起こった主な地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>西暦(年)</th> <th>地震</th> <th>最大震度</th> <th>マグニチュード(M)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1498</td> <td>明応地震</td> <td></td> <td>8.2 ~ 8.4</td> </tr> <tr> <td>1703</td> <td>元禄地震</td> <td></td> <td>7.9 ~ 8.2</td> </tr> <tr> <td>1707</td> <td>宝永地震</td> <td></td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>1854</td> <td>安政南海地震</td> <td></td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>1923</td> <td>関東大震災</td> <td>7</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>1946</td> <td>南海地震</td> <td>6</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>1995</td> <td>阪神・淡路大震災</td> <td>7</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>東日本大震災</td> <td>7</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>熊本地震</td> <td>7</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1919 年以降の気象庁震度データによる。 2019 年 2 月 27 日 朝日新聞</p>	西暦(年)	地震	最大震度	マグニチュード(M)	1498	明応地震		8.2 ~ 8.4	1703	元禄地震		7.9 ~ 8.2	1707	宝永地震		8.6	1854	安政南海地震		8.4	1923	関東大震災	7	7.9	1946	南海地震	6	8.0	1995	阪神・淡路大震災	7	7.3	2011	東日本大震災	7	9.0	2016	熊本地震	7	7.3	<p>りしています。</p>  <p>日本で起こった主な地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>西暦(年)</th> <th>地震</th> <th>最大震度</th> <th>マグニチュード(M)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1498</td> <td>明応地震</td> <td></td> <td>8.2 ~ 8.4</td> </tr> <tr> <td>1703</td> <td>元禄地震</td> <td></td> <td>7.9 ~ 8.2</td> </tr> <tr> <td>1707</td> <td>宝永地震</td> <td></td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>1854</td> <td>安政南海地震</td> <td></td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>1923</td> <td>関東大震災</td> <td>7</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>1946</td> <td>南海地震</td> <td>6</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>1995</td> <td>阪神・淡路大震災</td> <td>7</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>東日本大震災</td> <td>7</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>平成 28 年熊本地震</td> <td>7</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>平成 30 年北海道胆振東部地震</td> <td>7</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>令和 6 年能登半島地震</td> <td>7</td> <td>7.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1919 年以降の気象庁震度データによる。 2022 年 3 月 26 日 朝日新聞</p>	西暦(年)	地震	最大震度	マグニチュード(M)	1498	明応地震		8.2 ~ 8.4	1703	元禄地震		7.9 ~ 8.2	1707	宝永地震		8.6	1854	安政南海地震		8.4	1923	関東大震災	7	7.9	1946	南海地震	6	8.0	1995	阪神・淡路大震災	7	7.3	2011	東日本大震災	7	9.0	2016	平成 28 年熊本地震	7	7.3	2018	平成 30 年北海道胆振東部地震	7	6.7	2024	令和 6 年能登半島地震	7	7.6	<p>新しい資料で学習できるようにするため。</p>
西暦(年)	地震	最大震度	マグニチュード(M)																																																																																								
1498	明応地震		8.2 ~ 8.4																																																																																								
1703	元禄地震		7.9 ~ 8.2																																																																																								
1707	宝永地震		8.6																																																																																								
1854	安政南海地震		8.4																																																																																								
1923	関東大震災	7	7.9																																																																																								
1946	南海地震	6	8.0																																																																																								
1995	阪神・淡路大震災	7	7.3																																																																																								
2011	東日本大震災	7	9.0																																																																																								
2016	熊本地震	7	7.3																																																																																								
西暦(年)	地震	最大震度	マグニチュード(M)																																																																																								
1498	明応地震		8.2 ~ 8.4																																																																																								
1703	元禄地震		7.9 ~ 8.2																																																																																								
1707	宝永地震		8.6																																																																																								
1854	安政南海地震		8.4																																																																																								
1923	関東大震災	7	7.9																																																																																								
1946	南海地震	6	8.0																																																																																								
1995	阪神・淡路大震災	7	7.3																																																																																								
2011	東日本大震災	7	9.0																																																																																								
2016	平成 28 年熊本地震	7	7.3																																																																																								
2018	平成 30 年北海道胆振東部地震	7	6.7																																																																																								
2024	令和 6 年能登半島地震	7	7.6																																																																																								
<p>p.139 Q1の図</p>			<p>頂点Oが、同ページ上部の図の点Oと同一の点ではないことを明らかにするため。</p>																																																																																								

修正箇所	原文	修正文	理由
p.218	<p>次の2つの調査は、どのように行われたのでしょうか。</p>	<p>次の2つの調査は、どのように行われたのでしょうか。</p>	新しい資料で学習できるようにするため。


修正箇所

原文

p.219

すべてのデータを集めずに、集団のもっている傾向や特徴を調べることがあります。この章では、集団の一部のデータから全体の傾向や特徴を調べる方法を学びます。

**人口約 15 万人の
東京都多摩市が
行った市政
世論調査**



知れば知るほど住み続けたいまち？

平成 29 年 7 月に、3,000 人の市民を対象に「第 37 回多摩市政世論調査」を実施し、1,593 人から回答をいただきました。調査にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！ 調査結果は、市の施策の評価や現状分析など、市政運営のあらゆる場面で広く活用させていただきます！

Q 1 多摩市に住み続けたいと思いますか？

定住派*	81.7%	転居派*	7.1%
(n=1,593人)			

今回の世論調査の結果では、80%以上の人が「定住派」でした。たくさんの市民が多摩市に長く住みたいといってくれています。

※本記事では、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答えた人を「定住派」、「1年以内に転居するつもり」「できれば市外へ移りたい」と答えた人を「転居派」としています。

「たま広報 平成 30 年 2 月 20 日号」(東京都多摩市発行)をもとに作成

全員を調べたわけではないけど、多摩市民の傾向がわかるのかな。

あおい

この調査を受けた人はどのように選ばれたのかな。

つばさ

修正文

理由

すべてのデータを集めずに、集団のもっている傾向や特徴を調べることがあります。この章では、集団の一部のデータから全体の傾向や特徴を調べる方法を学びます。

**人口約 15 万人の
東京都多摩市が
行った市政
世論調査**

第 40 回多摩市政世論調査の結果がまとまりました

本調査は 2 年に 1 回実施し、今回は令和 5 年 8 月 24 日～9 月 6 日に、18 歳以上の市民 3,000 人を対象に調査への協力をお願いして、1,414 人から回答をいただきました。調査結果は、市の施策決定や事業の目標値など市政運営のあらゆる場面で広く活用していきます。

Q. あなたは総合的にみて、多摩市は住みよいまちだと思いますか。

回答	第 38 回 (令和元年度)	第 39 回 (令和 3 年度)	第 40 回 (令和 5 年度)	住みよ派 = 「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」	住みにくい派 = 「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」
住みよ派	86.8%	87.8%	90.5%		
住みにくい派	5.6%	5.4%	5.3%		

Q. 行政に対して特に力を入れてほしいことは何ですか。

順位	第 38 回 (令和元年度)	第 39 回 (令和 3 年度)	第 40 回 (令和 5 年度)
1 位	多摩ニュータウン再生 17.9%	災害に強いまちづくり 17.9%	高齢者福祉対策 20.9% (11.7%)
2 位	災害に強いまちづくり 17.5%	多摩ニュータウン再生 13.4%	●保健・医療対策 19.5% (11.3%) ●駅周辺拠点地区の活性化 19.5% (新項目)
3 位	防犯対策 16.9%	防犯対策 12.2%	

※ () 内は前回の結果▲

「たま広報 令和 6 年 2 月 20 日号」(東京都多摩市発行)をもとに作成





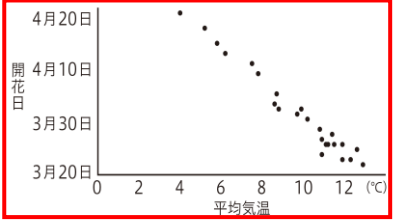
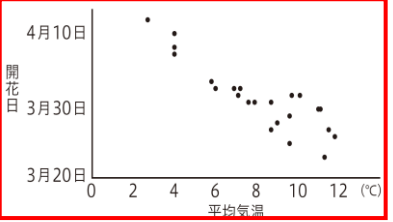
全員を調べたわけではないけど、多摩市民の傾向がわかるのかな。

あおい

この調査を受けた人はどのように選ばれたのかな。

つばさ

新しい資料で学習できるようにするため。

修正箇所	原文	修正文	理由
p.242 右上	 <p>カルダノ 1501 ~ 1576</p>	 <p>カルダノ 1501 ~ 1576</p>	写真使用の契約切れのため。
p.247 左上	 <p>テレビ視聴率 羽生「金」33.9%、小平「金」21.4%</p> <p>NHK 総合が17日に生中継し、羽生結弦選手が金メダルを獲得した平昌五輪のフィギュアスケート男子フリーの平均視聴率が関東地区で33.9%、関西地区で31.7%だったことが19日、ビデオリサーチの調べで分かった。瞬間最高視聴率は金メダルが決まった直後の場面で、関東地区で46.0%（午後2時10分）、関西地区で44.6%（同2時13分）だった。</p> <p>2018年2月19日 産経ニュース配信の記事をもとに作成</p> <p>テレビや新聞などでよく見かける視聴率調査もその1つです。視聴率調査</p> <p>偏り さけ</p> <p>8章で学 さまざまな</p>	 <p>フィギュア男子フリー視聴率 26.0% 瞬間最高 32.0% 関東地区</p> <p>ビデオリサーチは14日、NHK 総合で10日に生中継され、鍵山優真選手が銀メダル、宇野昌磨選手が銅メダルを獲得し、羽生結弦選手が4位となった北京オリンピックのフィギュアスケート男子フリーの平均世帯視聴率が関東地区で26.0%（関西地区21.8%）だったと発表した。瞬間最高世帯視聴率は、鍵山選手が暫定1位に立った場面などの32.0%。</p> <p>2022年2月14日 毎日新聞配信の記事をもとに作成</p> <p>テレビや新聞などでよく見かける視聴率調査もその1つです。視聴率調査</p> <p>偏り さけ</p> <p>8章で学 さまざまな</p>	新しい資料で学習できるようにするため。
p.277 左下	<p>例 各地の桜の開花日と3月の平均気温の関係 (2018年)</p>  <p>「気象観測データ」(気象庁)</p>	<p>例 各地の桜の開花日と3月の平均気温の関係 (2024年)</p>  <p>「気象観測データ」(気象庁)</p>	新しいデータで学習できるようにするため。
p.282左段 12行目	<p>5章をふり返ろう</p> <p>p.171 ① (1) $\triangle DCE \sim \triangle ABE : \triangle DCE = 2 : 3$ (2) $BF = 6\text{cm}$, $EF = \frac{24}{5}\text{cm}$</p>	<p>5章をふり返ろう</p> <p>p.171 ① (1) $\triangle DCE \sim \triangle ABE$ と $\triangle DCE$ の相似比は、$2 : 3$ (2) $BF = 6\text{cm}$, $EF = \frac{24}{5}\text{cm}$</p>	誤記